



令和2(2020)年度

全国地域づくり人財塾

主催：総務省、全国市町村国際文化研修所

地域活性化のためには、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが大切です。そのような状況を生み出すために必要となる、地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材、すなわち「地域づくり人」を育成するため、本講座を開催いたします。地域づくりに実績がある豪華な講師陣、そして熱い志を持つ全国からの参加者と熱い議論をしてみませんか？

開催要領

日程

令和2(2020)年5月13日(水)～5月15日(金) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

市区町村等職員、地域づくりに取り組むNPO関係者及び
地方創生カレッジ受講中又は受講済みの方

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和2年4月10日(金)まで

※申込後、4月当初の人事異動に伴う受講者の変更については、柔軟に対応します。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の3週間前を目途に通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和2年

5月
13日(水)

11:00～

入寮受付・昼食

12:30～

開講・オリエンテーション

12:55～13:00

導入 人材力の活性化について

総務省地域力創造グループ地域自立応援課人材力活性化・連携交流室「地域の人材力」向上の必要性和総務省のこれまでの取り組み、参加者への期待についてお話しいたします。

13:00～13:50

事例報告 元漫才師公務員が創る、地域と公務員の新しいコミュニケーション

尼崎市子ども政策課 係長 江上 昇氏

元漫才師。経歴を生かし、お堅い行政情報を漫才でわかりやすく伝える「お笑い行政講座」を各地で展開。NPOでの活動や任意団体の運営も多数。公務員のパラレルキャリアで得られるスキルやネットワークを日々の業務に持ち込むことを信条に活動し、「地域密着型職員モデル事業」担当時には、ふるさとづくり大賞総務大臣表彰を担当地区が受賞。「月刊ガバナンス」にて「誌上版!お笑い行政講座」を連載中。

14:05～14:55

事例報告 「夢は2度描かれる!ありたい未来を描く地域づくりとキャリア形成」

北名古屋市市民活動推進課 課長補佐 樋口 由訓氏

高齢化や人材不足などに始まり、地域づくりも正論だけで進めていく時代は終わりました。時代の変化が速くなり、様々な場面で厳しいと言われる現在、地域づくりとともに我々自身のあり方も改めて考える時なのかもしれません。「なにも制限がなかったら、ホントはどうなったらいい?」をキーワードにお話しいたします。

15:10～16:00

事例報告 “観光6次産業化”と“地域資源への再投資”による「観光地域づくり」

特定非営利活動法人森のこだま 代表理事 上野 真司氏

観光では未活用だった地域の資源(森・雲海・畑など)をガイドツアーとして商品化することで、観光客数及び売上が増加。さらに、資源の「利用料」を負担してもらい保全や修繕の財源として「地域資源への再投資」を行う仕組みを行政と共に作り、更なる魅力向上や観光客増加へと繋げる「観光地域づくり」の活動事例を紹介します。

16:15～17:00

グループワーク 受講者が抱える地域活動に対する課題の解決策について検討を行います。

17:10～17:40

説明 「地方創生カレッジ」について

一般財団法人地域活性化センター 理事長 椎川 忍氏

地方創生カレッジは、国の「地方創生人材プラン」に基づき、地方創生を担う人材を養成するために2016年12月22日に開講されました。176のeラーニング講座で実践的な知識を学ぶことができるほか、必要に応じて実地研修も取り入れることでより深く知識やスキルを習得できるようにする取組です。

18:00～

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和2年

5月
14日(木)

9:00～9:25

グループワーク 1日目に引き続き、課題解決に向けた検討を行います。

9:25～10:35

実践事例 地域づくりのマネジメント -つながりをつくり創発を生む仕組みづくり-

慶應義塾大学総合政策学部 教授 飯盛 義徳氏

地域づくりの第一人者である慶應義塾大学飯盛義徳教授は、実際に学生と一緒に各地を訪問して、地域の人々とともに課題解決につながる研究プロジェクトを立ち上げ、理論と実践の相乗効果を目指しておられます。そのご経験から、数々の先進的な取組事例の分析に基づき、プラットフォームの観点から、どのようにすると多様な人たちが集まり、相互作用が活発となり、新しい主体的な活動が生まれて賑わい創出につながっていくのかなど、これからの地域づくりに役立つ本質について人材力の観点から講義いただけます。

※参考HP:【慶應義塾大学飯盛義徳研究室 (<http://isagai.sfc.keio.ac.jp/>)】

【地方創生カレッジ (<https://chihouseusei-college.jp/>) 講座No.57】

10:50～14:10 (途中休憩あり:12:00～13:00)

講師との直接対話 I

受講決定通知後の事前アンケートの希望に沿って、講師ごとにグループをつくり、受講者からの質問に講師が応える形式で直接対話を行います。直接対話は、講師の話聞くだけでなく、他の受講者の意見を聞きながら、「みんなで学び合う場」です。

令和2年

5月

14日(木)

テーマ 教育機関との連携による地域づくり、場づくりと 地域の担い手の確保・育成など

講師1 慶應義塾大学総合政策学部 教授 飯盛 義徳 氏

テーマ 人が幸せに生きる公園づくり

講師2 一般社団法人スマート 代表理事 富永 一夫 氏

東京多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンだった講師が、47歳で会社を辞めて地域に戻り、暮らしを支えるNPO法人を設立。住宅管理支援事業、高度情報化支援事業等の事業を立ち上げ、八王子市都市公園の指定管理者として地域課題の解決に取り組んでこられました。後継者育成にも専心し、2016年に全ての経営権を30代と20代に移譲。2019年6月に理事も退任し一會員に。

2012年度には、緑の都市賞(国土交通大臣賞)、2016年度には、ふるさとづくり大賞(総務大臣表彰)を受賞。2017年8月には、DVDで教材を開発し、「公園経営学校」を主宰。2019年5月『人間里山主義』を出版したのを契機に「NPO経営学校」も創業。

“都市郊外”の新興住宅地で、既存の住民と新住民との間で地域づくりの活動を実践されてきた講師のご経験をもとに、どのような点に留意して地域活動を展開すべきか、その要諦を講義いただきます。

※参考HP:【NPOフュージョン長池(<http://www.pompoco.or.jp>)】

【地方創生カレッジ(<https://chihousei-college.jp/>) 講座No.80】

特定非営利活動法人フュージョン長池 理事長 田所 喬 氏

テーマ 地域再生 ～行政に頼らない感動の地域づくり～

講師3 柳谷自治公民館 館長 豊重 哲郎 氏

柳谷は、鹿児島県肝属平野に位置し、集落ぐるみで豊かな生き方を目指す小さな「むら」です。土着菌を活用した環境保全型農業や生きた福祉活動が高く評価され、第8回日本計画行政学会「計画賞」の最優秀賞受賞。また、「むらづくり日本一」も受賞し、2018年度にはふるさとづくり大賞(内閣総理大臣賞)を受賞。行政に頼らない住民自治を基本に、自主財源確保活動としてオリジナル焼酎を開発販売。各地のリーダー養成の故郷創生塾を開講し24年間継続中。リーダーは企画力、演出力及び財務力の学びを高め、地域創生で社会に貢献してほしいとの熱意を持って、全住民参加型の感動の地域づくりを実践している豊重自治公民館長のご経験をもとに、行政に頼らない自立した地域づくりのポイントと、地域人材の力を引き出し、活動に巻き込むためのポイントを講義いただきます。

※参考HP:【やねだん(<http://www.yanedan.com/>)】

【地方創生カレッジ(<https://chihousei-college.jp/>) 講座No.81、No.95】

一般財団法人高度映像情報センター 理事長 久保田 了司 氏

テーマ まちを楽しくする仕事

講師4 一般財団法人地域活性化センター 人材育成プロデューサー 前神 有里 氏

県職員時代に、地域包括ケア・虐待防止を担当したことをきっかけに地域に深く関わるようになり、その後、地域担当職員として市町・地域おこし協力隊・地域のひとともに地域づくりに取り組んできました。現在は、愛媛から東京へ飛行機通勤をしながら各地を行き来し、自治体職員や地域住民、学生を対象にあいだをつなぐ人材育成を行うほか、愛媛県伊予市移住サポートセンター「いよりん」の業務推進アドバイザーも務めている。

この人材塾では、公務員が「職務経験を地域で生かす」・「地域での経験を職務で生かす」ためのポイントと、課題解決から入らない新しい価値創造型の地域づくり・人材育成について講義いただきます。

特技は、胃袋ネットワークと翻訳こんにやく。

※参考HP:【一般社団法人地域活性化センター(<https://www.jcrd.jp/>)】

【地方創生カレッジ(<https://chihousei-college.jp/>) 講座No.83】

滋賀県栗東市職員 竹山 和弘 氏

テーマ 市民によるまちづくり

講師5 株式会社御祓川 代表取締役 森山 奈美 氏

石川県七尾市生まれ。いしかわ地域づくり協会専任コーディネーター。ふるさとのおまちづくりに取り組む父の姿を見て、将来はまちづくりを仕事にしたいと考え、横浜国立大学で都市計画を専攻。

1995年、株式会社計画情報研究所に入社。都市計画コンサルタントとして、地域振興計画、道路計画等を担当した。民間まちづくり会社、株式会社御祓川の設立に携わり、1999年より同社チーフマネージャーを兼務。

2007年より現職。同年に起きた能登半島地震を機に、能登一円の間支援機能として「能登スタイルストア」や「能登の人事部」を事業化し、サポートの拠点として市民大学「御祓川大学」を設立。様々な主体が関わるまちづくりのつなぎ役として、能登の元気を発信し「小さな世界都市・七尾」の実現を目指して日々、挑戦中。

※参考HP:【株式会社御祓川(<https://www.misogigawa.com/>)】

テーマ 関係人口政策をどう進めるのか

講師6 福知山公立大学 副学長 富野 暉一郎 氏

令和2年

5月

14日(木)

14:25 ~ 17:00
(途中休憩あり)

講師との直接対話 II

Iと同様に、グループごとに直接対話を行います。Iとは別の講師と対話を行います。

17:10 ~ 17:40

グループワーク

グループワークでの成果をまとめ、発表の準備を行います。

令和2年

5月

15日(金)

9:00 ~ 9:25

グループワーク

グループワーク発表に向けての準備を行います。

9:25 ~ 10:35

実践事例

小さな地方公立大学からの挑戦

～全国の中小都市から若者が集う地方創生人材育成の現場から

福知山公立大学 副学長 富野 暉一郎 氏

福知山公立大学は、地域経営学部と新設の情報学部を持ち学年定員200名の小規模大学です。多くの学生は全国の人口5万人以下の地方都市の出身で、地域社会に貢献する意思を持った若者達です。人口減少時代の地域創成を担う若者が、北近畿地域の各分野との協働による実践型教育で育っていく地方公立大学の姿とその地域社会における役割を皆さんと共有したいと思います。

※参考HP:【福知山公立大学 (<https://www.fukuchiyama.ac.jp/>)】

10:50 ~ 12:00

実践事例

関係人口のつくり方

～わたしたちは地方で幸せを見つける～

月刊「ソトコト」 編集長 指出 一正 氏

1969年群馬県生まれ。島根県「しまコトアカデミー」、静岡県「『地域のお店』デザイン表彰」、奈良県「奥大和アカデミー」、奈良県下北山村「奈良・下北山 むらコトアカデミー」、福井県大野市「越前おおの みずコトアカデミー」、和歌山県田辺市「たなコトアカデミー」、高知県津野町「地域の編集学校 四万十川源流点校」など、地域のプロジェクトに多く携わる。内閣府まち・ひと・しごと創生本部「わくわく地方生活実現会議」、「人材組織の育成・関係人口に関する検討会」委員。内閣官房「水循環の推進に関する有識者会議」委員。環境省「SDGs人材育成研修事業検討委員会」委員。著書に『ぼくらは地方で幸せを見つける』（ポプラ新書）。趣味はフライフィッシング。

13:00 ~ 14:30

グループワーク発表

3日間のグループワークでの検討の結果を班毎に発表していただきます。

14:30 ~ 15:00

研修アンケート記入、閉講

- 各講師が講義を行っている一般財団法人地域活性化センター等が提供する「地方創生カレッジ」の講座を受講したり、関係HPを参照してから、当人財塾に臨むことにより、講義への理解がさらに深まることが期待できます。

令和元年度研修受講者の声 ～研修アンケートから～

- 濃密な3日間を過ごすことができました。
- 人財塾に参加する前と後では、地域づくりに関する考え方ががらっと変わりました。
- 講師の先生方や他の受講生の方々の熱い話を聴き、モチベーションが高まりました。
- 講師のパワーを感じた。具体的な打ち手についてイメージできました。
- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
- 研修内容の記録を目的として、主催者側において写真撮影を行います。また、写真はHP等で掲載される場合があります。予めご了承ください。ただし、受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
- 当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

FAXでのお申込みは矢印の方向に

令和2年度 受講申込書

研修名 及び時期	受講申込開始日まではお申込みできません。申込開始日はホームページをご確認ください。								
	令和	年	月	日 ()	～	年	月	日 ()	
市区町村 コード番号						※全国市町村要覧に記載のコードを6桁で記入してください。 (例: 12345-6の場合、123456と記入)			
団体名				都道府県	市区町村 組合				
所在地 (受講決定 通知送付先)	〒		-		申込み手続の 担当課名				
					担当者名				
					電話番号				
					FAX番号				
					e-mail アドレス				
受講者	所属								
	職名(補職名)								
	職階 (○印を記入/必須)		1部長級 2課長級 3課長補佐級 4係長級 5主査級 6主任・主事・技師等級 ※自治体職員の方のみ記入してください。 ※不明の場合は、「6 主任・主事・技師等級」を選択してください。						
	ふりがな								
	氏名								
	年齢 (研修開始日現在)		歳	性別		男	・	女	
	本研修関連職務の通算経験年月数(研修開始日現在)					年	か月		
	研修の受講や寮生活で身体的配慮等が必要な方はご記入ください。								
特記事項	NPO等の方は、団体の活動内容、行政との協働実績等をご記入ください。 上記の他、研修案内ちらしの申込方法欄をご確認いただき必要がある場合はご記入ください。								
上記のとおり、研修の受講を申し込みます。									
		令和	年	月	日	団体の長の職 氏名			
全国市町村国際文化研修所学長 あて						公印省略可			

この申込書でご提供いただきました個人情報は、今回の研修実施のために使用します。

なお、個人情報を集計して個人を特定できない統計資料を作成するために利用する場合があります。